

## 令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立けやき小学校	足利市教育委員会	公立

## 1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立けやき小学校	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>

## 2. 特別の教育課程の内容

## (1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

### (3) 自校における評価

#### 【 評 価 】

- ・第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。ALT や EAA が T2 として指導にあたっているため、生きた英語に慣れ親しむことにつながっている。ネイティブの発音を聞きながら、コミュニケーション中心の学習を進めることで、会話を聞き取って理解する力や自分から話そうとする意欲が培われている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施によって、英語に対する苦手意識を軽減できることを期待する。
- ・高学年では、足利市独自に計画された10時間の中での「チャレンジデイ」において、既習の内容を実際に使う機会があり、楽しそうに活動している児童の姿があった。さらに、自分の考えなどをプレゼンテーションできるなどの英語による発信力が高まることを期待している。

### (4) 学校関係者による評価

#### 【 評 価 】

##### <児童>

- ・興味関心をもって英会話学習に取り組む児童が多い。
- ・ALT や EAA と楽しそうに活動している。
- ・以前より、英会話学習に対する苦手意識が薄らいできた。

##### <保護者>

- ・第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっている。
- ・第1学年から英会話を学習することで、外国の方に対する見方が変わってきている。

#### 4. 実施の効果及び課題

- ・あいさつの仕方や自己紹介など、恥ずかしがらずにできるようになってきた。
- ・学年が上がるにつれ、取り組み方の積極さに個人差が出てきている。
- ・小学校において、どの程度まで行えばいいのか。

#### 5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・学年が上がっても、パターン化したレッスンをくり返し行うことで、心理的な抵抗を減らすとともに、技能の向上を図る。
- ・中学校との連携をより一層密にする。